

DP1：知識・技能、意欲・態度	DP2：思考力・判断力・実践力	DP3：主体性・公德心	DP4：協働力・親和力・コミュニケーション力
武道の理論と形や技術、トレーニング方法や指導方法についての専門的知識と幅広い教養、それらを通して高い競技力を身に付けるとともに、学修成果を活用し、誠意を持って指導する姿勢を有している。	修得した武道の知識・技能をもとに、他者に分かりやすく理解させる表現力と、武道に関する高い競技力を社会の様々な要請において活用できる能力を有している。	競技力の向上を通して、絶え間なく人格の錬磨を図るとともに、武道の普及を通して社会の精神的向上に自ら進んで貢献する意欲を有している。	卒業後は、アスリート、保健体育科教員、スポーツ指導者、トレーナー、警察官など将来、武道の知識・技能をもとに各界において他者と協調し、国際的に社会に貢献する意欲を有している。

